

①教員名 畠中 昌教 Masanori HATANAKA

②教育・研究指導分野 人文地理学、ツーリズム研究 Human Geography, Tourism Studies

③研究テーマ 地域資源を活かした観光開発と持続可能性

④これまでの主要研究業績等

・著書：単著 なし

・著書：共著

「朝倉世界地理講座 7.地中海ヨーロッパ」朝倉書店 2010年

「アンダルシアを知るための53章」明石書店 2012年

「市民参加のまちづくり [グローバル編] - コミュニティへの自由」創成社 2013年

「ジオツーリズム論」古今書院 2014年

「20 retos para el turismo en España」Madrid: Pirámide 2015年

「観光先進地ヨーロッパ 観光計画・観光政策の実証分析」古今書院 2016年

を含め共著 12冊

・論文：

La transformación de una ciudad turística histórica: El caso de Nara (Japón). Actas del VIII Coloquio de Geografía del Turismo, Ocio y Recreación、2003年

自然保護とツーリズム：スペイン、カンタブリア州の事例. 地域と環境（京都大学）、2004年

Un espacio protegido en transformación hacia destino turístico maduro: El parque natural de Somiedo (Asturias). Actas del IX Coloquio de Geografía del Turismo, Ocio y Recreación、2006年

Vino y turismo del municipio de Cangas del Narcea (Asturias, España). PASOS、2008年

スペインのツーリズム研究の動向についての一考察. 地域と環境（京都大学）、2009年

ワイン・酒ツーリズムの国際比較試論：スペインと日本の事例から (プロジェクト研究 グローバリズムの中で考える世界と久留米). 久留米大学経済社会研究所紀要、2013年

等学会誌（学術研究団体登録等）掲載論文 6編を含め論文等 13編

・計 著書・論文・報告書等 45編

⑤教育指導できる研究分野やテーマ等 自然、食、ワイン、文化など地域資源を活かした観光開発と持続可能性、国立公園、世界遺産、ジオツーリズム、温泉、フットパス

⑥修了院生のこれまでの研究テーマ（および予想される研究）テーマ

・南小国町のグリーンツーリズムと女性

・訪日中国人個人観光客による観光行動の時空間的特徴

・清酒製造業の地域性

・九重町の温泉資源利用の多様性

⑦最近8年間の指導（正副指導）院生延べ人数等

前期博士課程院生 5名

後期博士課程院生 0名

⑧社会や地域への貢献

・福岡県朝倉郡東峰村 水源地域活性化プロジェクト委員会（旧小石原小学校の校舎転用の検討） 外部委員

・福岡県久留米市 久留米とんこつ戦略プラン推進会議委員 委員

・フットパスネットワーク九州(FNQ) フットパスリーダー（初級）

⑨社会や地域貢献が期待できる研究や教育分野等

・観光に関する講演や相談

・自然、食、ワイン、文化など地域資源に関する講演や相談

・フットパスに関する講演や相談